

神奈川県の学童保育

第42回定期総会を開催

去る2017年6月25日、横浜市開港記念会館にて「神奈川県学童保育連絡協議会第42回定期総会」を開催しました。県内の地域学童保育連絡協議会からの会員を中心に、個人会員含め50人が参加し、役員会からの総会議案の提案に対し活発な議論がなされました。2016年度活動報告、決算を承認した後、2017年度活動方針、予算案をめぐって質疑応答がありました。2016年度の『日本の学童ほいく』誌を増やしながらかつ財政問題に特化した運営委員会を精力的開催し、課題解決に向けて知恵と力を合わせて行く」という方針に基づく活動が一定の成果をあげ、2017年度については、会議交通費の削減をしない予算案が提案されました。活動方針、予算案は承認され、引き続き、文化活動や、財政を助ける活動、「日本の学童ほいく」誌の普及拡大を通して、財政健全化に向けた取り組みが重要であることを共有することができました。

また、来年(2018年)秋に開催される「全国研 in 神奈川」の成功を目指し頑張ることをみんなで確認しあう重要な総会となりました。

今回の総会には県連協史上初めて、来賓として県の担当課(副課長)が出席し挨拶をしました。また、「神奈川の学童保育を支援する議員連盟」会長：佐藤議員はじめ5名の県議が出席しました。

総会の後、午後は地域連絡協議資料等をもとに地域の状況や運動方向について意見交流しました。

総会は2017年度役員として以下の12名を承認しました。

会長：小神長次

副会長：上崎輝夫、内海洋子、岡崎進、小関富美江、木村美登里、須山由紀子(新)、中山光江、山崎善明

財政局長：池谷潤(後日決定)

事務局長：河野眞明

事務局次長：池谷潤(兼)、山崎善明(兼)小関富美江(兼)

監査役：堀英司

尚、前財政局長の石井治さん、前副会長の松浦こずえさんは今総会をもって退任となりました。

第42回全国学童保育指導員学校 南関東会場

6月4日(日)、大東文化大学(板橋区)にて、第42回全国指導員学校(南関東会場)が開催され、北は岩手県、南は沖縄県より1都16県765名の参加がありました(第41回は1都13県706名)。神奈川県内からも12市より160人が受講しました。

午前の全体会では、須田都連協会長による基調報告から始まり、「保護者の立場からの熱い想いに『理解ある保護者に支えられている』ことを感じた」、「700人を超える全国の仲間との学びの場に襟を正す想い」との声がありました。また、全体講義は、「子どもも保護者もつながりあう学童保育」(講師 埼玉県飯能市指導員 河野伸枝さん)で、優しい語り口調の中で、放課後児童クラブ運営指針に書かれている指導員の仕事内容について、現場の様子や子どもの様子を交えたお話から、日々の記録の大切さ等考えさせられる内容でした。参加者からは「学童の真の役割について、自分のしどう保育(かかわり方)についてとても考えさせられ、勉強になった。」などの感想が寄せられています。

「新人指導員の研修の場」との印象が強い指導員学校ですが、参加者の4割が6年以上の指導員経験者でした。「資格を取ることは仕事をする上での入り口。指導員は常に自己研鑽と現任研修が必要」という意識が広がってきたのでしょうか、中堅・ベテランが多く参加しています。

午後は基礎・理論・実践・特別講座の計20講座で学びあい、成功裏に終了しました。

この指導員学校は、東京都(23区、三多摩)、千葉県、神奈川県の4連協の持ち回りで開催しています。次年度は神奈川県が担当するはずですが、2018年度は全国研を神奈川県で開催するため、千葉県での開催予定となります。

2017年夏のえいが会

県連協では、2017年度より夏の文化事業に取り組んでいます。

2017年の夏は以下の3会場で開催です。大和市と綾瀬市は終了しましたが、平塚市は前2会場とは異なる作品の上映です。まだ席に余裕がありますので、ぜひ夏休み保育の一環にご検討ください！

◆ 会場と日程

- ① 大和市…8月1日(火)・「かいけつゾロリ」
- ② 綾瀬市…8月2日(水)・「かいけつゾロリ」
- ③ 平塚市…8月22日(火)・「おまえうまそうだな」

平塚市勤労福祉会館（平塚駅より徒歩15分）、10時15分～（開場9時45分）

◆ 料金…子ども一人700円、大人も同額

ただし、大人（引率者）子ども10人まで1名無料、10名増えるごとに1名無料

◆ お申込・お問合せ

神奈川県学童保育連絡協議会（Tel：045-662-9647）



私のおすすめ『日本の学童ほいく』

毎月の運営委員会では、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。でも大変残念ですが、6月と7月の運営委員会では、総会の準備や「夏のえいが会」の準備のためにご紹介いただく時間を取ることができませんでした。そのため、今回は県連協新役員（副会長）の須山さんからのおすすめです。

2017年7～8月号【実践ノート】「高学年の子どもたちの気持ちに思いを寄せて」

自分の子どもの気持ちに寄り添い、保護者の気持ちに寄り添い、一人ひとりを大切にしていこうという気持ちが伝わってきます。あたりまえのように過ごしていますが、指導員の実践を知ることによって、それは決してあたりまえではないと気付けるからです。子どもが安心して過ごせる場所が、学童にあるという事はとてもありがたいことだと思います。

保護者の立場として、学童保育やそれを支えてくれる指導員をしっかりと守っていきたいと思えると思います。

2017年6月号～8月号に掲載されている神奈川からの投稿をご紹介します。

☆実践ノート〔7月号～8月号〕 平塚市指導員 内海洋子さん

☆わたしは指導員〔7月号〕 横浜市指導員 高嵯光海さん

☆子どものひろば

〔6月号〕 横須賀市 りこちゃん（2年生）、横浜市 千隼くん（5年生）

〔7月号〕 横浜市 ひなたちゃん（1年生）、茅ヶ崎市 きほちゃん（1年生）

〔8月号〕 横須賀市 いつきくん（2年生）、龍一郎くん（3年生）

☆読者のひろば 〔7月号〕横須賀市指導員 見付祐子さん、横浜市指導員 渡辺喜久代さん

第53回全国研 in 神奈川(2018年秋)開催に向けて…②

「第52回全国合宿研究会 in 兵庫」ツアー

11月4日(土)～5日(日)の兵庫県での全国研に向け、県連協では宿泊と新幹線がセットになったツアーを組んでいます。**ツアー料金は新幹線往復とホテル1泊朝食付で【26,000円】**、申込締切は9月7日(木)となっていますが、95名分限りですので、**定員になった時点で申込終了**とさせていただきます。

プランの内容は以下の通りです。(ホテルの割り振りはお任せください)

お問合せ、お申し込みは県連協(Tel: 045-662-9647)までお願いいたします。(担当 小関)

○ 新幹線(指定席)

往路：のぞみ17号…新横浜駅発8:49/新神戸駅着11:23

復路：のぞみ46号…新神戸駅発18:05/新横浜駅着20:34

○ ホテル(シングル1泊朝食付)

グリーンヒルホテル神戸(新神戸駅から徒歩8分)

ホテルサブ神戸アスタ(JR・市営地下鉄「長田駅」から徒歩1分)

サンルートソプラ神戸アネッサ(阪急電鉄・阪神電鉄・神戸電鉄・山陽電鉄「新開地駅」徒歩2分)

また、2018年(平成30年)秋に開催する「第53回全国研」に向け、神奈川県連協として「実行委員会」を立ち上げることになりました。第1回実行委員会は8月20日(日)に横浜文化会館平沼レストハウス第1号室にて行いますので、関係者の皆さまよろしくお願いたします。(13:00～16:30)

物 品 販 売

お申込み・お問合せ…神奈川県学童保育連絡協議会(Tel: 045-662-9647)

小豆島の高級手延素麺

1日保育での昼食、おやつに、美味しい素麺はいかがですか?

時間がたっても伸びにくい小豆島の手延素麺は、流しそうめんやそうめんチャンプルーにもピッタリです!化粧箱入りなので、お使い物にもご利用いただけます。

販売価格…1500円/箱(50g×30束入り)

1箱(14箱入り)でお申込みいただいた場合は、製麺所から直送されます。(送料無料)

天然の味【元祖笹川流れ】の昆布塩

日本海の清海水に北海道産昆布を入れ、特許製法で沸騰させない釜で仕上げた塩です。おにぎり、浅漬け、てんぷらやお刺身の付塩などに最適です。この季節なら、冷やしたキュウリやトマトにつけて食べたら美味しそう!焼魚、ステーキもシンプルに塩味で♪。

販売価格…350円/個(200g入り)

3個 1,000円

*「小豆島の高級素麺」も「天然の味【元祖笹川流れ】の昆布塩」も事務所に在庫あります♪

【編集後記】

横浜市長選挙が行なわれた。結果は現職の林市長の三選となった。市長選挙に際し、横浜市連協は候補者三名に学童保育の充実の観点から公開質問をし、その回答をニュースで会員に周知している。林市長に対する評価は様々あろう。

学童保育が格段の充実に期待はしない。ただ気になっていた「横浜カジノ」は無条件に実施することはできなくなったのでは?

活動報告(6月～7月の主な活動報告)

6月4日(日) 第42回指導員学校・南関東	7月12日(水)～8月1日(火)
6月25日(日) 県連協第42回定期総会	県議会各会派ヒアリング
6月29日(木) 第47回指導員交流会	8月1日(火) 夏のえいが会(大和会場)
6月30日(金) 全国要請行動(厚労省との懇談)	8月2日(水) 夏のえいが会(綾瀬会場)

♪ 地域連協だより ♪

横浜連協だより

今年の7月、戸塚区と旭区で2つのクラブが新しい施設に移りました。いずれも大家さんが古い建物を解体して、学童保育のための専用施設を自費で建ててくれたものです。

市からの賃借料補助が条例基準を満たすことによって20万円に増額にはなりますが、千万単位の費用を学童保育のために出してくれるということに感謝感激です。

長年にわたり、保護者と指導員がともに子どもたちのために一所懸命に頑張っている姿勢と、学童保育についての市の施策の不十分さを毎年の署名等で訴え続けていることが、大家さんの理解を得て実現したのだと思います。

昨年の横浜市議会で、自民党の議員が新しい施設に移転したクラブを訪問したときの感想として、「市民力が本当に生かされているいい事例だなと思った」と発言していました。

こうした「市民力」は保護者と指導員が力を合わせて地域に働きかけていかなければ出てきません。しかしながら、行政側が「市民力」に頼り切るということも問題です。「市民力」を活かすためには、それを支える行政側の補助がなければならぬことは言うまでもありません。「市民力」+「行政の補助」がバランスよく釣り合うことで相乗効果を生んでいくのだと思います。

今回の2つのクラブは横浜では稀有な事例ではありませんが、大多数のクラブがこのような恵まれた環境にあるわけではありません。条例基準の経過措置期間も半分が過ぎようとしています、いまだに100か所近いクラブが基準を満たせていないという厳しい状況です。連絡協議会加盟のクラブの保護者は運営の負担を背負いながらも指導員と共に「市民力」を高めながら子どもたちのために必死に学童を守っています。行政に対して、それに見合う補助を求めていく運動として、今年も請願署名に取り組んでいきます。県内各地域の皆さんにもご協力をお願いいたします。



次号(10月号)の「地域連協だより」では相模原市連協を予定しています!

<これからの予定>

- 8月20日(日) 「53全国研 in 神奈川」第1回実行委員会(横浜市・平沼レストハウス)
- 8月22日(火) 夏のえいが会(平塚市・勤労福祉会館)
- 9月9日(土) 第48回指導員交流会(相模原市・学童クラブぐるんぱ)
- 9月10日(日) 秋の学習会(大和市・渋谷学習センター)
- 11月4日(土)～5日(日) 第52回全国学童保育研究集会 in 兵庫(神戸市)
- 2018年1月8日(日) 新春会長会・「日本の学童ほいく」普及推進会議(横浜市)
- 2018年2月末(日) 第41回神奈川県学童保育研究集会(会場未定)